

恵迪寮同窓会 第14期平成29年度理事会 議事録

日 時：平成29年4月8日（土）

【理事会】15：30～18：00

【懇親会】18：00～20：00

会 場：札幌パークホテル 3階「高砂の間」

札幌市中央区南10条西3丁目 ☎011-511-3131

◆議事次第

1. 開 会 の 辞 代表幹事 白浜 憲一君
2. 会 長 挨 拶 会 長 横山 清 君
3. 議 長 選 出 会則第11条により、会長が議長に就任
4. 議 事

<報告事項>

- (1) 第14期平成28年度事業報告
- (2) 第14期平成28年度監査報告
- (3) 第14期平成28年度決算報告

<方針伺い>

- (1) 北大フロンティア基金を利用して「恵迪寮支援金」を募り、3者委員会を設置する件
- (2) 開拓の村旧寮舎展示リニューアル対応の件

<決議事項>

- 【第1号議案】 同窓会の一般社団法人化に関する件
- 【第2号議案】 平成29年度支部交付金配分の件
- 【第3号議案】 第14期平成29年度事業計画並びに予算案の件

<支部報告>

- (1) 3支部の活動報告と活動計画（東日本支部・西日本支部・北海道支部）

<その他の報告>

5. 閉 会 の 辞 副 会 長 内藤 春彦君

◆出席者

- ★役員・幹事：事務局含めて34名出席
- ★ご 来 賓：北海道大学総長 名和 豊春様（理事会終盤および懇親会冒頭にご挨拶を戴いた。）
- ★オブザーバー：恵迪寮第308期執行委員長 小田嶋元哉君
北海道支部幹事（寮歌祭担当）大谷文昭君
北海道支部会員（開拓の村旧寮舎展示企画委員）山本牧君（S49）、鹿田幸年君（S50）

◆議事

<報告事項>

(1) 第14期平成28年度事業報告

- 白浜代表幹事より、議案資料に基づいて報告が行われた。
恵迪精神の発揚と発信の為、「恵迪寮研究会」を発足させた経緯と主旨が説明された。また、縦系活動と横系活動の展開が、会費納入者の増加と役員世代構成の充実につながり成果を収めていることも報告された。
- 「CD・音楽の風景販売状況」の説明を佐藤事務局長が行った。

- 組織委員会・吉沢副代表幹事より周年企画の実施経過と成果を報告した。
- 文化活動常任委員会・野本常任幹事よりCD制作経過と現状報告を行った。

(2) 監査報告

- 会計監査を代表して 藤本康男君（S58）が監査報告を行った。

(3) 第14期平成28年度決算報告

- 会計委員会（皆川副代表幹事より平成28年度決算内容を説明）会費等納入者の大幅増加とグッズ販売の予算超過により収支が均衡した旨報告した。

以上、事業報告・監査報告・決算報告について全員異議なく承認された。

<方針伺い>

(1) 北大フロンティア基金を利用して「恵迪寮支援金」を募り、3者委員会を設置する件

- 経緯と主旨について、八重樫広報担当常任幹事より起案説明を行った。
- 横山会長から、文科省と北大の学寮建替に関する予算面での状況は当面全く期待できない環境にあることが説明され、岩崎現寮担当常任幹事と山崎相談役から建築専門家としての現寮建物補修の可能性について報告・解説された。同窓会として「恵迪精神の継承・寮歌を歌い繋ぐ」ためには、建物としての学寮の存続は大前提であり補修もせずに倒壊の危険理由で立ち退きなどという事態は絶対に許してはならない・・・という意見が多数であった。
- 北大フロンティア基金に『恵迪寮支援金』の枠を作り、必要な額の基金を募ることとする。また現寮・大学当局・同窓会の3者委員会を設けて意思疎通をしっかりと行い運用していく。という方針について、全力で取り組むことを全会一致で確認した。

(2) 開拓の村旧寮舎展示リニューアル対応の件

- 白浜代表幹事が、3/18役員幹事会での討議により「展示企画委員会」を発足させ佐野将義幹事（H02）を開拓の村旧寮舎展示企画委員会委員長に指名したことと、本日理事会前に第1回会合を開催し昭和50年代の比較的新しい素材を多く所有するS49山本・S50鹿田両君に参画してもらった経緯を報告した。また北海道開拓の村の指定管理者である一般財団法人北海道歴史文化財団では、展示品のリニューアル予算を捻出できる財務状況にないことも確認済みで、恵迪寮同窓会において企画予算化する必要があることが報告された
- 佐野幹事より、劣化のひどい展示物の応急処置については早急にまとめて対応を検討し、今年度中に入替を図る考えであることが表明された。
- また小田嶋執行委員長から、旧寮舎は自分たちの恵迪寮は何をどのように引き継いでいるのかを知る良い場所なので、多くの寮生が旧寮舎を訪れるように“行って楽しめる場所”になれば良い…という意見が出され、「展示企画委員会」には現寮も参画してもらうこととした。
- 佐野幹事より、展示の全面リニューアルに関しては古いものを入れ替えるだけでなく、現寮にも引き継がれている様子を含めて、委員会の中でリニューアルの方向性や必要事項を協議し1年程度かけて取りまとめ、見積もりを出す方針が表明され一同了承した。

<決議事項>

【第1号議案】同窓会の一般社団法人化に関する件

- 谷口副代表幹事より議案説明が行われた。
- 支部のあり方、代議員、理事などの基本事項と移行までの手続き日程について質疑が行われ、法人傘下の任意団体となる各支部の「モデル規約」と「法人同窓会定款（案）」については、できるだけ早めに各支部に提案すること、また12月の本部役員幹事会の決定より事前に支部・本部間の協議・調整期間を設けることが約された上で基本的に了承され、議長が議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

【第2号議案】平成29年度支部交付金の配分の件

- 皆川副代表幹事（会計委員会委員長）より平成29年度支部交付金の配分案について、算出根拠を説明し、全員異議なく承認可決した。

【第3号議案】第14期平成29年度事業計画と予算案

1. 第14期平成29年度事業計画（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

- 白浜代表幹事より事業計画を説明した。今年度も3つの基本方針を堅持する、すなわち
 - ① 恵迪精神の伝承は、「恵迪寮研究会」活動と寮歌CDの制作・普及活動を展開する
 - ② 縦系活動と横系活動を重層的に展開し、地域・地区や年代別の基層組織の結成促進を図る
 - ③ これらを通じて財務基盤の一層の充実を図る
- また縦系活動に関連して、東日本支部、西日本支部においては支部役員の多くが北大東京同窓会や北大関西同窓会などの役員兼務で、恵迪寮同窓会支部としての独自活動が少ないので体制の在り方や活動の内容について見直しができないか…と両支部長に意見を求めたところ、それぞれ状況説明を行ったが共通して以下のような見解であった。

東日本も西日本も恵迪寮同窓会が結成される前から北大の同窓会があり、恵迪寮OBはその中心になって活動してきた経緯がある。北海道にほっかいどう同窓会が出来たのは近年であり、全学行事の中での恵迪寮同窓会としての独自活動ができる北海道と、東日本・西日本は事情が違う。そうしたなかで少しでも恵迪寮同窓会の存在を知らしめるために参加の仕方を工夫してきた積りだ。しかし恵迪寮同窓会としての独自活動として恵迪グッズの頒布や開識社活動などまだまだ取り組み強化の余地はあると思うので、地区恵迪会の組織化の課題も含めて積極的に取り組んでいきたい。

- 組織委員会の横系活動計画について吉沢副代表幹事が説明した。
- 事業委員会のグッズ頒布計画について谷口副代表幹事が説明した。「富山の置き薬方式」でのグッズ普及について、東日本・西日本支部より大変良い企画なので大いに積極的に取り組む旨が表明された。
- 会誌編集委員会の「恵迪寮研究会」論文募集の趣旨について大隈常任幹事編集長が説明した。
- 文化常任委員会のホームカミングデー企画と新CD「寮歌チェロ演奏版」制作について野本常任幹事より説明した。
- 広報委員会のホームページ、一斉同報システム、フェイスブックを活用した広報活動について八重樫広報常任幹事より説明した。
- 現寮委員会の方針について村橋幹事より現寮生に同窓会のことあまり知られていない現状に鑑み、もっと積極的に多くの寮の行事に同窓会が関わり支援していくべきである旨発言があり、恵迪寮執行委員会と連携を強めて取り組んでいくことが確認された。

2. 第14期平成29年度予算案

- 皆川副代表幹事より予算案とその算定基礎について説明がなされた。

以上の事業計画ならびに予算案を議長が議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

＜支部報告＞ 恵迪寮同窓会3支部の活動報告と活動計画

1. 東日本支部

平成28年度活動報告と平成29年度活動計画について、竹下幹事長が報告した。

2. 西日本支部

平成28年度活動報告と平成29年度活動計画について、藪内事務局長が報告した。

3. 北海道支部

平成28年度活動報告と平成29年度活動計画について、内藤支部長が報告した。

以上